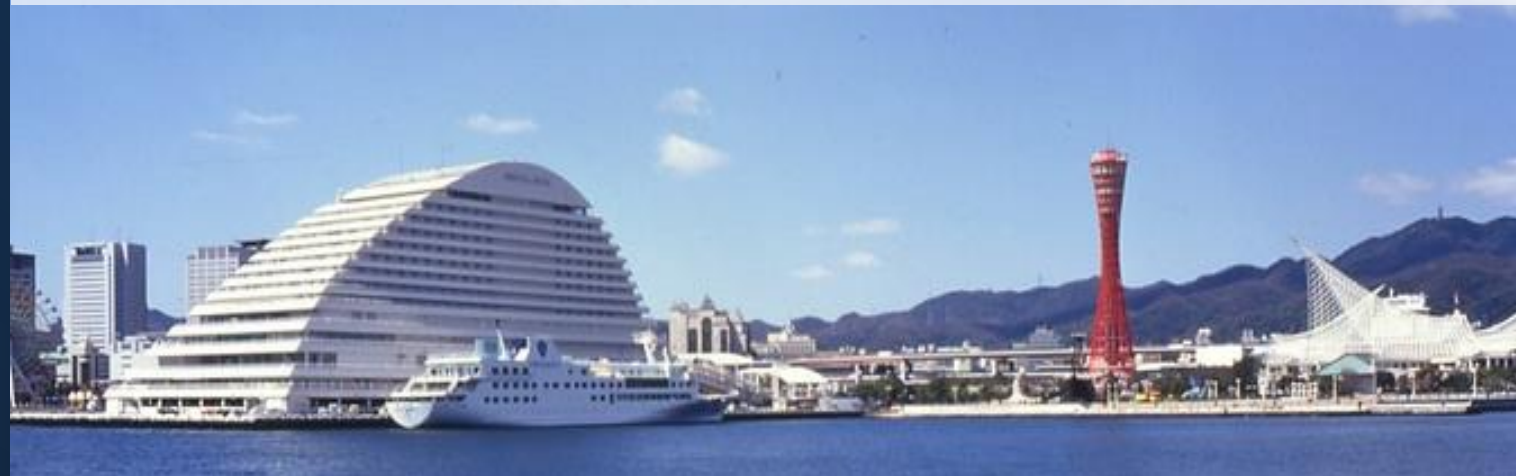


Bible Forum in KOBE

~KOBE MOTOMACHI Bible Forum~



~KOBE Bible Forum~



ニックネーム
KBF(神戸ビーフ)
KMBF(コンビーフ)

第10回 神戸元町聖書フォーラム

クレイ聖書解説コレクション
「ヨハネの黙示録」講解メッセージ
黙示録20章

2016/10/29(土)

お願い！

このパワーポイント資料は

Clay クレイ聖書解説コレクション 「ヨハネの黙示録」

を基に作成しております。

ハーベスト・タイム・ミニストリーズから発売の
電子版か紙版テキストと合わせて
必ずご参照・ご活用下さい！

*神戸聖書フォーラムでまとめ買いしております。
お求めの際はお気軽にお声掛け下さい。

1. イントロダクション

1. 神のご計画の全貌（全体構造）を再確認！



2. 終末論の全貌（全体構造）を再確認！



3. 「ヨハネの黙示録」の全体構造を再理解！

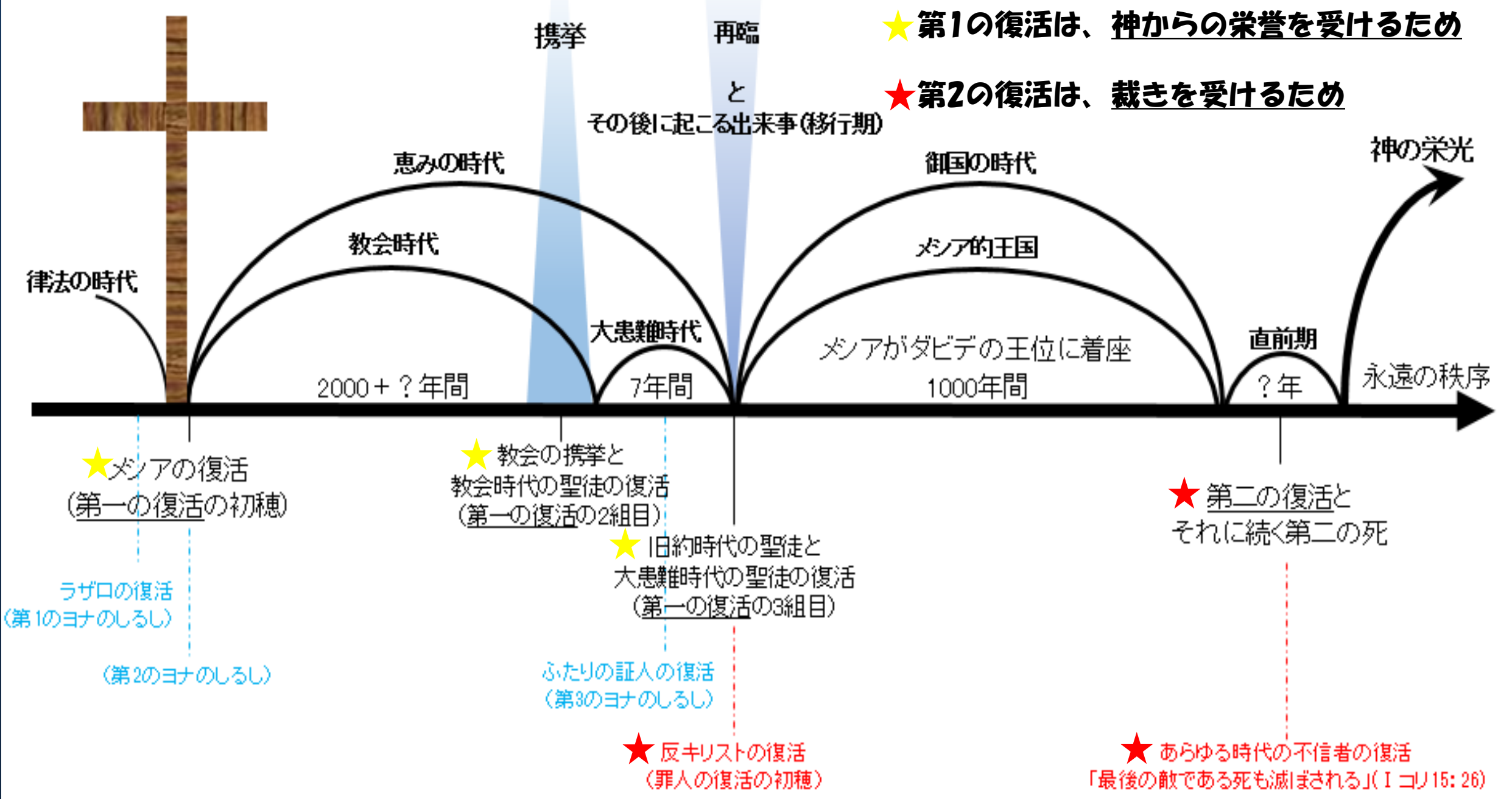
全体構造理解の大前提！

ティスペンセーションリズム

定義「ティスペンセーションとは
神の計画が進展していく過程において出現する
明確に区分可能な神の経緯（時代・時代区分）

- (1) 聖書を字義通りに解釈
- (2) イスラエルと教会を一貫して区別。
神がユダヤ民族と
アブラハム契約を結ばれたこと
それが永遠の契約であることを認める。
- (3) 歴史を貫くテーマは「神の栄光」

時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を超越した永遠の秩序 黙21:1 ~22:5
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~	
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10	
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア	
1. エデン契約 聖書箇所	→ ・創1:26~31・創2:16~17							
2. アダム契約 聖書箇所	→ 【2】	→ ・創3:14~19						
3. ノア契約 聖書箇所		→ 【3】	→ ・創9:1~17					
4. アブラハム契約 聖書箇所			→ 【4】	→ ・創12:1~3 ・創12:7 ・創13:14~17 ・創15:1~21 ・創17:1~21 ・創22:15~18				
5. モーセ契約 聖書箇所				→ 【5】	→ ・出19:3~8 ・広くは出20:1~31:18			
6. 土地の契約 聖書箇所				→ 【6:土地】	→ ・申29:1~30:1 *特に申29:1に注目			
7. ダビデ契約 聖書箇所				→ 【7:子孫】	→ ・Ⅱサム7:11b~17(ソロモン強調) ・Ⅰ歴17:10b~15(メシア強調)			
8. 新しい契約 聖書箇所				→ 【8:祝福】	→ ・エシ31:31~34			



序言「まえがき」(1:1~3) -----> 1:1「イエスキリストの黙示」
 あいさつ(1:4~8) -----> 1:7「黙示録のテーマ」
 I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20) -----> 1:19「黙示録のアウトライン」
 II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)
 III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)
2. 大患難時代(6:1~18:24)
 - (1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)
 - (2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)
 - (3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)
 - (4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)
3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

→ 再臨までのプロセス

-----> クライマックスは再臨

縛られるサタン(20:1~3)	61
4. メシア的王国(20:4~6)	
千年王国(20:4~6)	62
解き放たれるサタン(20:7~10)	63
5. その後の出来事(20:7~15)	
白い御座のさばき(20:11~12)	64
第二の復活と第二の死(20:13~15)	65

← 第10回(10/29) 本日 ★

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

← 第11回(11/26)

← 第12回(12/24)

結論(22:6~21)

1) 1 : 1 「イエスキリストの黙示」

「1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。」

2) 1 : 7 「黙示録のテーマ」

「 1:7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。 」

3) 1 : 19 「黙示録のアウトライン」

「1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。 」

黙示録の要点

(1) 黙示録のテーマは、**主の再臨とそのプロセス** (黙1:7)

(2) 再臨の条件は、**ユダヤ人の民族的回心** (ゼカリヤ12:10)

(3) 終末論の出来事の流れ

携拳→大患難時代→ユダヤ人の民族的回心→メシアの再臨→千年王国

(4) 大患難時代の反ユダヤ主義の最大目的は、**靈的なもの(再臨の阻止)**

(5) 執筆経緯は **「迫害の中にいる人々」と「教会全体」への励ましと矯正**

「22:7 見よ。わたしはすぐに来る。この書の預言のことばを**堅く守る**者は、幸いである。」

「堅く守る」とは、「心に留め見張っている状態」を言います。

黙示録のテーマを理解し、主の大いなる再臨の日を待ちましょう！

そして再臨の条件であるユダヤ人の民族的回心を祈りつつ、教会としての責務を果たしましょう！

ユダヤ人に対する教会の責務まとめ

1. 福音を伝える ロマ1：16

- ①動詞は現在形。今も真理である。
- ②福音は、ユダヤ人に、次に異邦人に伝える。※パウロの伝道の原則でもある
- ③この原則は、あらゆる団体、個人、地域に適用される。

2. 物質的な物を分かち合う ロマ15：25～27

- ①異邦人は霊的な祝福をユダヤ人から受けた。
- ②それゆえ、物質的な祝福を届けるべきである。
※経済的な必要性 ※ユダヤ人伝道への支援

3. ユダヤ人のために祈る

- ①詩122:6 ②イザ62：1～2 ③イザ62：6～7 ④ロマ10：1

II. 第10回) 黙示録20章アウトライン

- (1) 20 : 1~3 「縛られるサタン」
- (2) 20 : 4~6 「千年王国」
- (3) 20 : 7~10 「解き放たれるサタン」 「サタンのさばき」
- (4) 20 : 11~12 「白い御座のさばき」
- (5) 20 : 13~15 「第二の復活と第二の死」

III. 今後学ぶことの展望(最終回まで)

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

縛られるサタン(20:1~3) 61

4. メシア的王国(20:4~6)

千年王国(20:4~6) 62

解き放たれるサタン(20:7~10) 63

5. その後の出来事(20:7~15)

白い御座のさばき(20:11~12) 64

第二の復活と第二の死(20:13~15) 65

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

← 第10回(10/29) 本日 ★

← 第11回(11/26)

← 第12回(12/24)

IV. 結論：神が望んでおられること

- (1) 何に従い、何にエネルギーを費やすべきか
- (2) 何に希望を持って地上生涯を送るべきか
- (3) キリストのさばきの座で報奨される建築家とは
- (4) 厳粛な神のさばきの事実を真剣に受け止めるならば

このメッセージは、御国の時代と
その後にかかる出来事について学ぼうとするものである。

ここからが本論！



黙示録20章

～御国の時代について～

～白い御座のさばきと数々の書物～

～第二の復活と第二の死について～

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)



縛られるサタン(20:1~3)

*底知れぬ所の鍵を持つ天使

61

*千年の間

*きょうの霊想: 悪魔への関心

4. メシア的王国(20:4~6)

千年王国(20:4~6)

62

解き放たれるサタン(20:7~10)

63

5. その後の出来事(20:7~15)

白い御座のさばき(20:11~12)

64

第二の復活と第二の死(20:13~15)

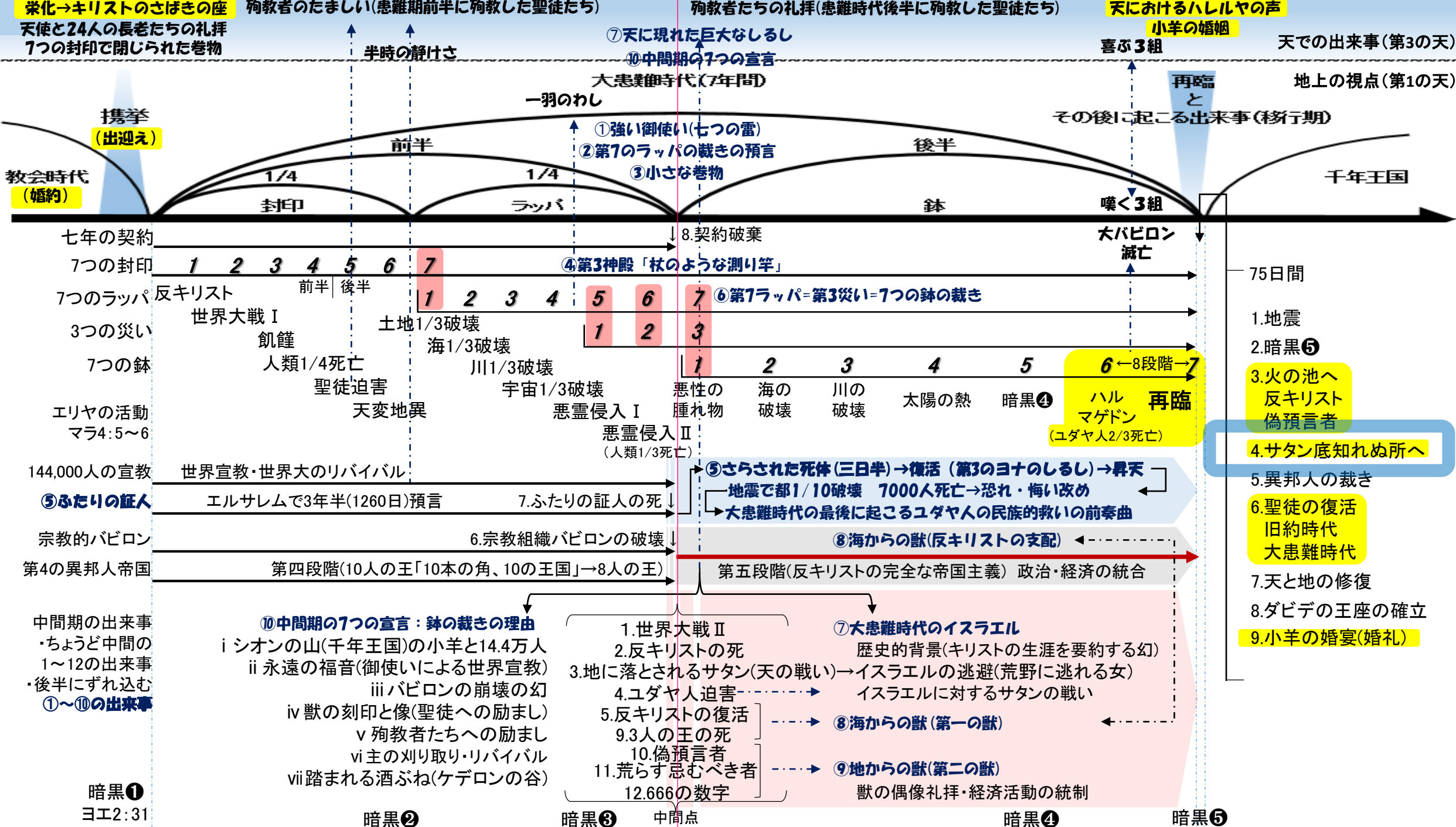
65

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

61) 20:1~3 「縛られるサタン」

20:1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手に持って、天から下って来るのを見た。20:2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕らえ、これを千年の間縛って、20:3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。



大患難時代の終了から千年王国までの75日間(黙19:1-20:3、ダニ12:11:13)

	内容	聖句 (黙示録)	聖句 (その他)
1	地震	黙16:17~21	
2	暗黒		マタ24:22~29 ゼカ14:3~5 ヨエ3:14~17
3	反キリスト・偽預言者 火の池へ	黙19:20	
4	サタン底知れぬ所へ	黙20:1~3	
5	異邦人の裁き ・「羊」は千年王国へ、「山羊」は殺される		ヨエ3:1~3 マタ25:31~46
6	旧約・大患難時代の聖徒復活	黙20:4	ダニ12:2 イザ26:19
7	天と地の修復		イザ65:17:25
8	ダビデの王座の確立		イザ9:6~7 エレ23:5~6 ルカ1:30~33 エゼ40~41章
9	小羊の婚宴	黙19:9~10	ヨハ3:27~30

サタン・悪霊の行先

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン				アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって縛られ幽閉	
	第1の天	地上に落とされる			
悪霊			地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			ゲヘナ (火の池)
悪霊 (創6章の墮天使)			タータラス(暗闇の穴)		
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

縛られるサタン(20:1～3)

61

4. メシア的王国(20:4～6)



千年王国(20:4～6)

*キリストの支配(4節)

*第一の復活(5～6節)

解き放たれるサタン(20:7～10)

62

63

5. その後の出来事(20:7～15)

白い御座のさばき(20:11～12)

64

第二の復活と第二の死(20:13～15)

65

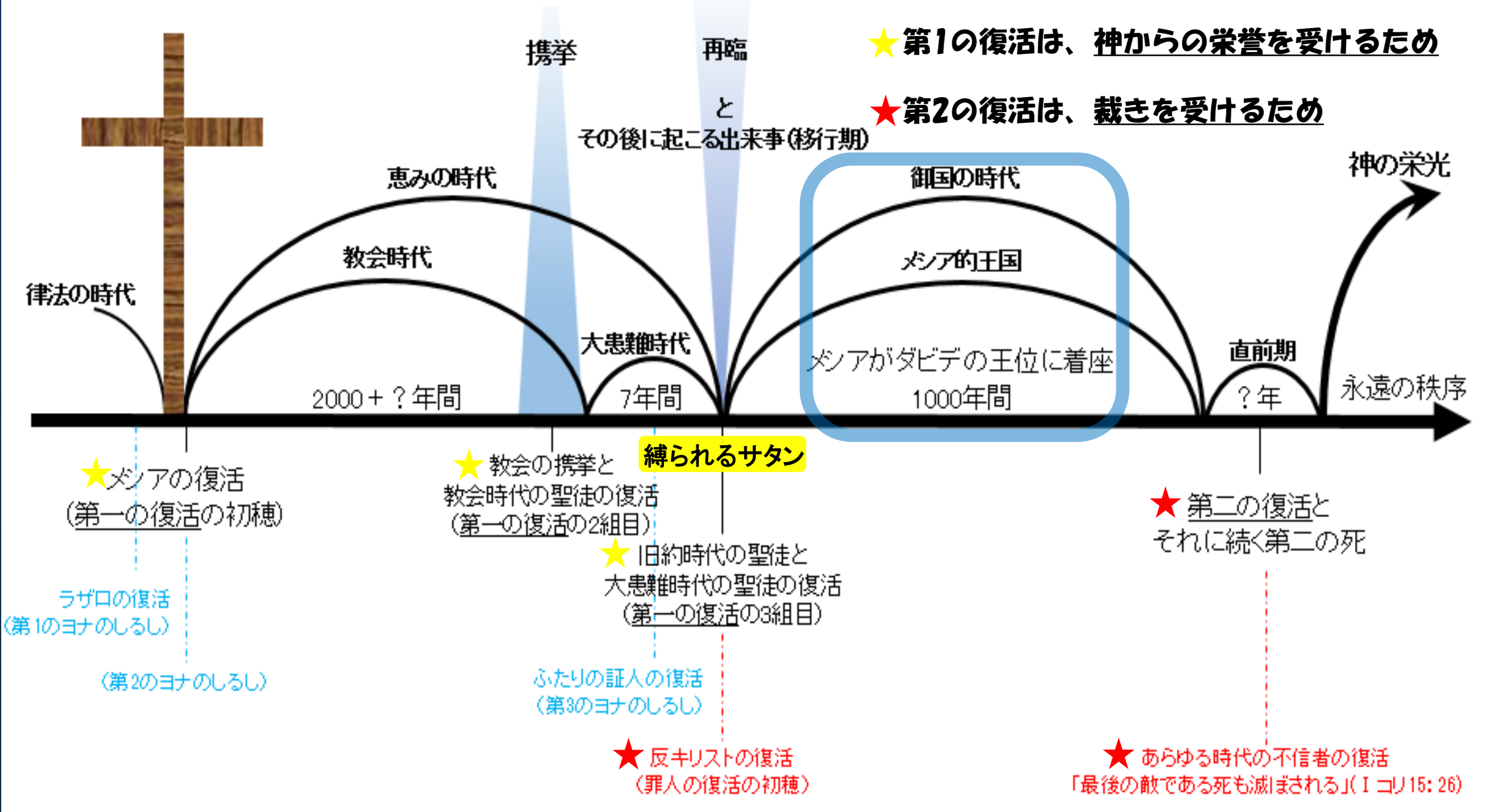
6. 永遠の御国(21:1～22:5)

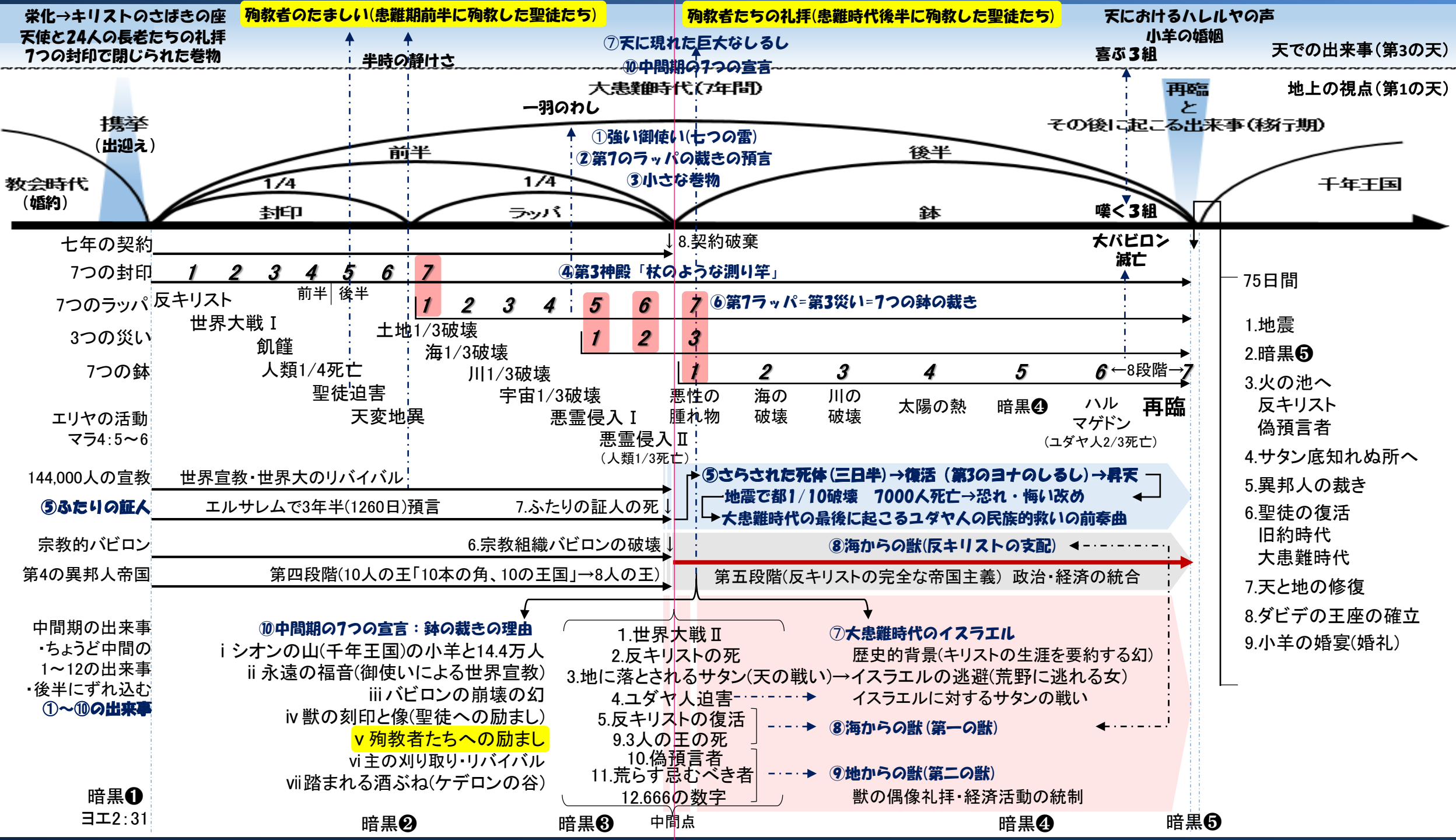
結論(22:6～21)

62) 20 : 4~6 「千年王国」

*キリストの支配 (4節)

20:4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行う権威が彼らに与えられた。また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。



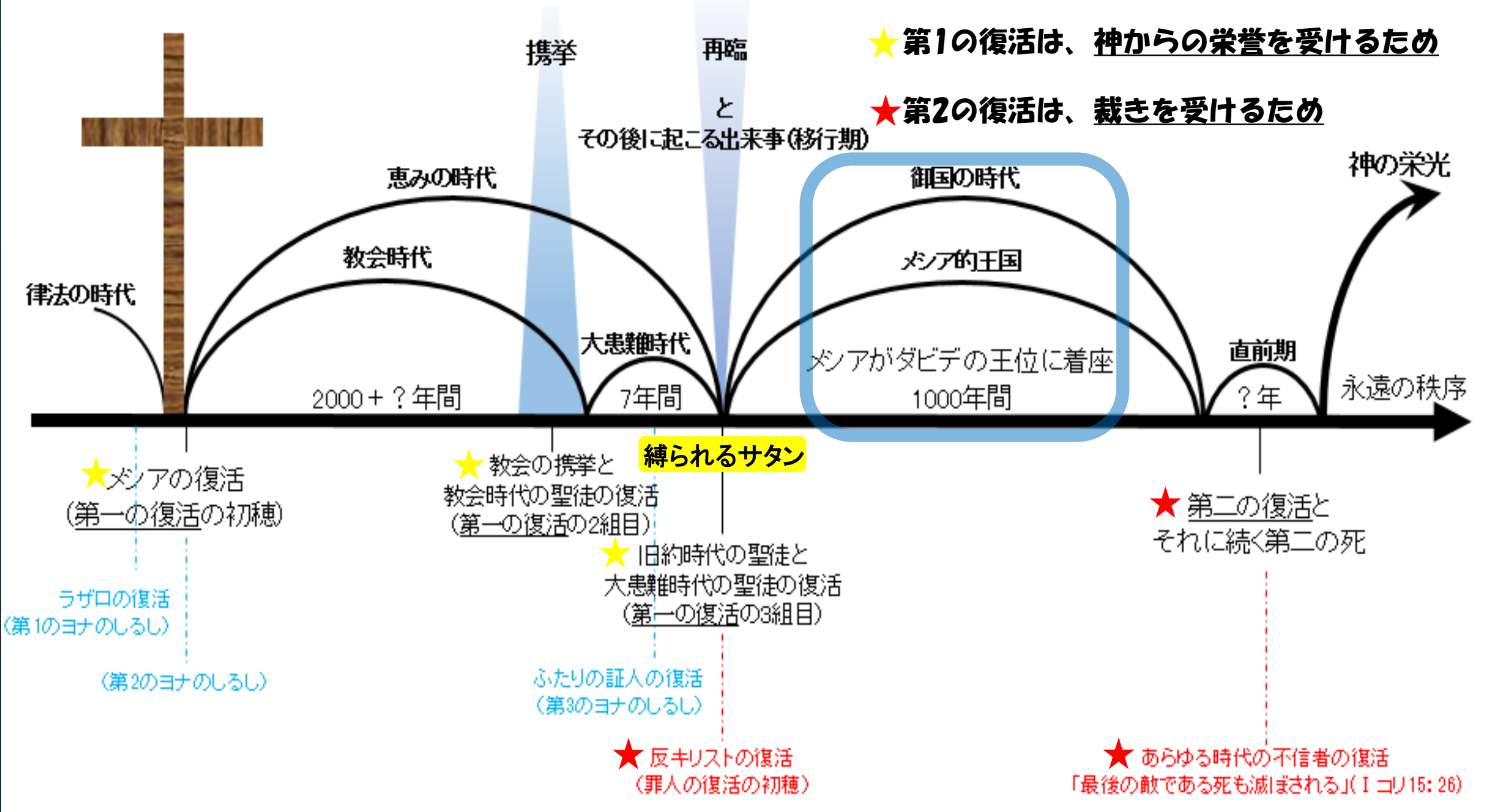


時代区分	過去					現在	未来	神の栄光 時間を超越した永遠の秩序 黙21:1 ~22:5		
	① ~無垢の時代~	② ~良心の時代~	③ ~人間による統治の時代~	④ ~約束の時代~	⑤ ~律法の時代~	⑥ ~恵みの時代~	⑦ ~御国の時代~			
聖書箇所	創1:28 ~3:8	創3:9 ~8:14	創8:15 ~11:32	創12:1 ~出18:27	出19:1 ~使徒1:26	使徒2:1 ~黙19:21	黙20:1 ~10			
中心人物	アダム	アダム	ノア	アブラハム	モーセ	パウロ	メシア			
1. エデン契約 聖書箇所	→ 創1:26~31・創2:16~17									
2. アダム契約 聖書箇所		→ 【2】 創3:14~19								
3. ノア契約 聖書箇所			→ 【3】 創9:1~17							
4. アブラハム契約 聖書箇所				→ 【4】 創12:1~3・創12:7・創13:14~17 創15:1~21・創17:1~21・創22:15~18						
5. モーセ契約 聖書箇所					→ 【5】 出19:3~8・広くは出20:1~31:18					
6. 土地の契約 聖書箇所					→ 【6:土地】 申29:1~30:1 *特に申29:1に注目					
7. ダビデ契約 聖書箇所					→ 【7:子孫】 IIサム7:11b~17(ソロモン強調)・I歴17:10b~15(メシア強調)					
8. 新しい契約 聖書箇所					→ 【8:祝福】 エレ31:31~34					

62) 20 : 4~6 「千年王国」

*第一の復活 (5~6節)

20:5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかつた。これが第一の復活である。 20:6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。



序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

縛られるサタン(20:1～3)

61

4. メシア的王国(20:4～6)

千年王国(20:4～6)

62

★ 解き放たれるサタン(20:7～10)

*解き放たれるサタン

63

*サタンのさばき

*きょうの霊想:ジョージ・ウィットフィールドの墓標

5. その後の出来事(20:7～15)

白い御座のさばき(20:11～12)

64

第二の復活と第二の死(20:13～15)

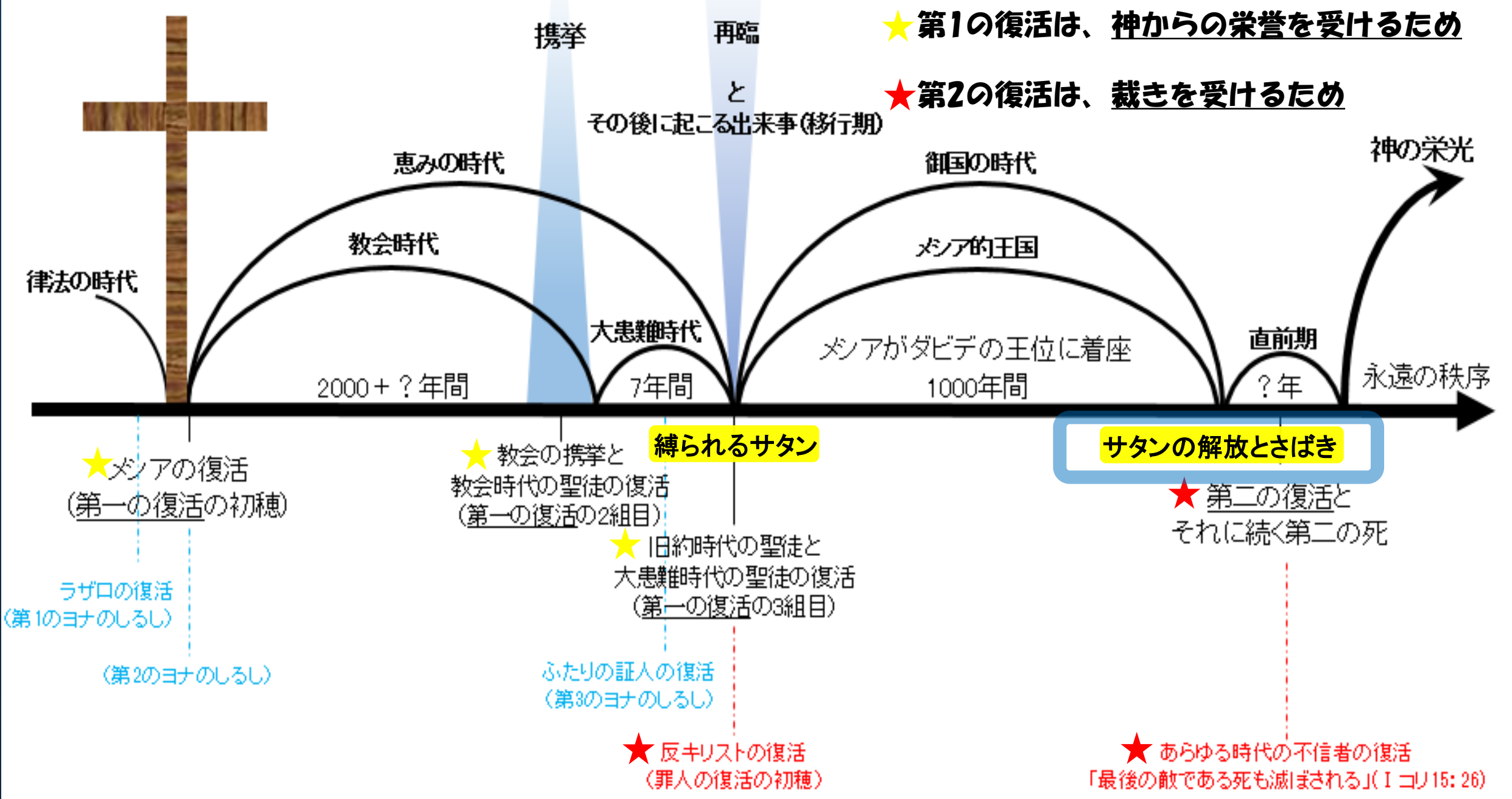
65

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

63) 20 : 7~10 「解き放たれるサタン」 「サタンのさばき」

20:7 しかし千年の終わりに、サタンはその牢から解き放され、 20:8 地の四方にある諸国の民、すなわち、ゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海べの砂のようである。 20:9 彼らは、地上の広い平地に上って来て、聖徒たちの陣営と愛された都とを取り囲んだ。すると、天から火が降って来て、彼らを焼き尽くした。 20:10 そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。 そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。



患難期前に起こる一連の出来事

順に起こる出来事

1. 第一次、第二次世界大戦
2. イスラエル国家の再建
3. ユダヤ人の支配下におかれたエルサレム
4. 北の諸国連合の侵攻 エゼ38:1~39:16
5. 世界統一政府
6. 10の王国
7. 反キリストの出現
8. 平和と偽りの安全の時期
9. 7年の契約

過去					現在の状態	将来	★大患難時代前半	★大患難時代後半	聖句箇所		
エジプト ?	アッシリヤ ?	異邦人帝国							10本の角	黙13: 1~10 黙17: 9~12	
		第一の異邦人帝国	第二の異邦人帝国	第三の異邦人帝国	第四の異邦人帝国(獣) 帝国主義(帝国主義の5つの段階)						
		獅子のようで 鷹の翼	熊	ひょうのようで 4つの翼	第1段階	第2段階	第3段階	★ 第4段階			★ 第5段階
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	大きな鉄のきばと10本の角★						
		頭は金	胸と両腕は銀	腹とももは青銅	すねは鉄、足は鉄と粘土						
バビロン	メド・ペルシャ	ギリシア	統一王国 (ローマ帝国) ★ ヨハネの時代	東西分裂 (364年~現在) ★ 現在	統一された 世界政府 ★ 将来	★ 10本の角とは、帝国主義の 第4段階における10人の王。 反キリストが11番目の角として 台頭し3本を倒し8番目の角で ありながら他7人を支配する。 「昔いたが、今はいません。 しかし、やがて底知れぬ所から 上がってきます」 = 反キリストの復活を意味する。 そして彼は二人の証人を殺す。 (黙11:7)	彼(反キリスト)が 来れば しばらくの間 (後半3年半) 世界を支配する。 ★(獣の国)	黙12: 1~5 黙13: 1~10 黙17: 9~12			
						★ 10の王国 10本の角 (同時代の 10人の王「冠」)	★ 8人の王 一時代だけ (黙17: 12)	★ 反キリスト(獣) による支配 (完全な帝国主義)	ダニ7: 7~12 ダニ7: 19~27 ダニ9: 27 ダニ11: 36~45		
第1の頭 (山・王) (統治形態)	第2の頭 (山・王) (統治形態)	第3の頭 (山・王) (統治形態)	第4の頭 (山・王) (統治形態)	第5の頭 (山・王) (統治形態)	★ 第6の頭 (山・王) (統治形態=帝国主義)		★ 第7の頭(反キリスト) による完全な統治形態				
★ 7つの頭(7つの山・7つの王=完全な帝国主義に至るまでの統治形態の変遷)							7つの頭				
「五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません」=5人は過去、1人は現在、1人は将来 過去(エジプト?、アッシリヤ?、バビロン、メド・ペルシャ、ギリシア) 現在(ローマ帝国=帝国主義) 将来(反キリストによる独裁)											

火と硫黄との池

～獣(反キリスト)も偽預言者もいる～

60) 19:17～21 「ハルマゲドンの戦い」

*ハルマゲドンの戦いの結果 (20節)

… 19:20 すると、獣は捕らえられた。また、獣の前で
しるしを行い、それによって獣の刻印を受けた人々と獣
の像を拝む人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼と
いっしょに捕らえられた。そして、このふたりは、硫黄
の燃えている火の池に、生きたまま投げ込まれた。

キリストに一切の権威が与えられる

1 コリ 15:24~28

… 15:25 キリストの支配は、すべての敵をその足の下に置くまで、と定められているからです。 15:26 最後の敵である死も滅ぼされます。 15:27 「彼は万物をその足の下に従わせた」からです。ところで、万物が従わせられた、と言うとき、万物を従わせたその方がそれに含まれていないことは明らかです。 15:28 しかし、万物が御子に従うとき、御子自身も、ご自分に万物を従わせた方に従われます。これは、神が、すべてにおいてすべてとなられるためです。

キリストのさばきの座

～パウロが告白する希望、最大の関心事～

IIコリント5:10 「死の彼方にある希望」

5：10なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現れて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。

聖化の完成
(栄化)

③小羊の婚姻

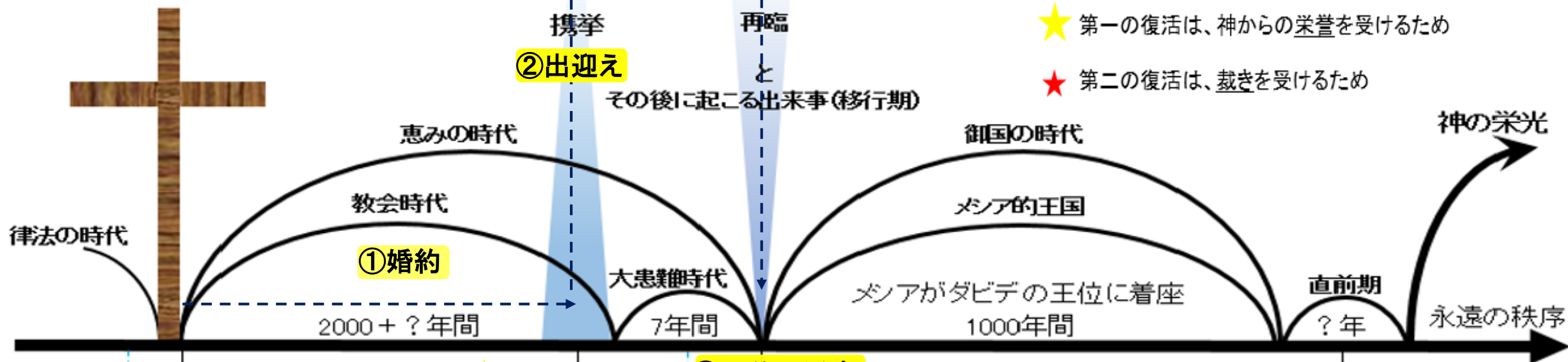
携挙
②出迎え

再臨
と

その後起こる出来事(移行期)

★ 第一の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第二の復活は、裁きを受けるため



★ ヌシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ 教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

④小羊の婚宴

旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ 反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ 15: 26)

キリストという土台の上に建てる

～賢い建築家（パウロ）の教会建設の秘訣～

1コリント3:10～15

3：10与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません。3：11というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。

3：12もし、だれかがこの**土台**の上に、**金、銀、宝石、木、草、わら**などで建てるなら、3：13各人の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現れ、この火がその力で各人の働きの真価をためすからです。3：14もしだれかの建てた建物が残れば、**その人は報いを受けます**。3：15もしだれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、自分自身は、火の中をくぐるようにして助かります。

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

{1}大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

{2}大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

{3}大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

{4}反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

縛られるサタン(20:1~3) 61

4. メシア的王国(20:4~6)

千年王国(20:4~6) 62

解き放たれるサタン(20:7~10) 63

5. その後の出来事(20:7~15)

★ 白い御座のさばき(20:11~12)

*白い御座に着座される方 64

*教々の書物

第二の復活と第二の死(20:13~15) 65

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

結論(22:6~21)

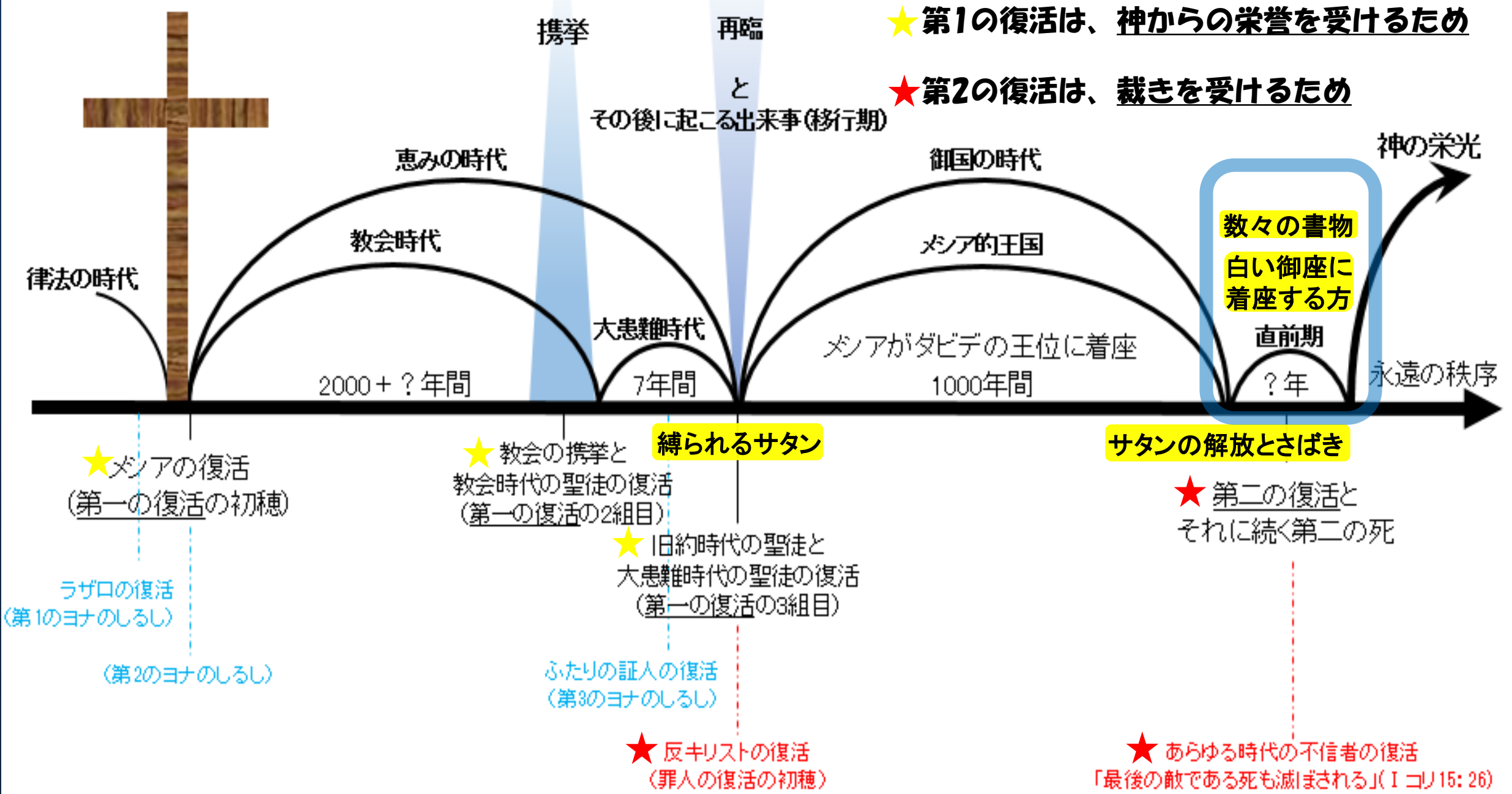
64) 20 : 11~12 「白い御座のさばき」

20:11 また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方を見た。**地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくな**った。 20:12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も御座の前に立っているのを見た。そして、**数々の書物**が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、**いのちの書**であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、自分の行いに応じてさばかれた。

キリストに全ての裁きが委ねられる

ヨハ5:22 「イエスの反論」～4つの反論～

5:22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。



★ 第1の復活は、神からの栄誉を受けるため

★ 第2の復活は、裁きを受けるため

律法の時代

恵みの時代

教会時代

2000 + ? 年間

携挙

再臨

と
その後起こる出来事(移行期)

大患難時代

7年間

縛られるサタン

御国の時代

メシア的王国

メシアがダビデの王位に着座
1000年間

サタンの解放とさばき

数々の書物
白い御座に
着座する方
直前期

?年

神の栄光

永遠の秩序

★メシアの復活
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★教会の携挙と
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★旧約時代の聖徒と
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

★反キリストの復活
(罪人の復活の初穂)

★ 第二の復活と
それに続く第二の死

★ あらゆる時代の不信者の復活
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ15: 26)

「数々の書物」

～聖書は、罪人のさばきには軽重があることを教えています～

マタイ11：20～24 「イエスに責められた三つの町」

… 11：22 しかし、そのツロとシドンのほうが、おまえたちに言うが、さばきの日には、まだおまえたちよりは罰が軽いのだ。

… 11：24 しかし、そのソドムの地のほうが、おまえたちに言うが、さばきの日には、まだおまえよりは罰が軽いのだ。」

「数々の書物」

～聖書は、罪人のさばきには軽重があることを教えています～

ルカ12：47～48 「多く任された者は多く要求される」

… 12：48 しかし、知らずにいたために、むち打たれるようなことをしたしもべは、打たれても、少いで済みます。**すべて、多く与えられた者は多く求められ、多く任された者は多く要求されます。**

「数々の書物」

～聖書は、罪人のさばきには軽重があることを教えています～

ヨハネ19：11「死刑の宣告」

～ピラトの恐れ、ピラトの宣告～

19：11 イエスは答えられた。「もしそれが上から与えられているのでなかったら、あなたにはわたしに対して何の権威もありません。ですから、わたしをあなたに渡した者に、もっと大きい罪があるのです。」

「いのちの書」

～地上に誕生した全ての人の名が記されたもの～

黙3：5 「サルテスにある教会」

3：5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。そして、わたしは、彼の名をいのちの書から消すようなことは決してしない。わたしは彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表す。

「いのちの書」

～罪人のままで死んだ人の名は、その書からは消し去られる～

詩69：28 「苦難の中での祈り」

69：28 彼らがいのちの書から消し去られ、正しい者と並べて、書きしるされることはありませんように。

詩139：16 「全能の神」

139：16 あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日もないうちに。

「いのちの書」

～地上に誕生した全ての人の名が記されたもの～

出32：31～33 「モーセの懇願」

… 32：32 今、もし、彼らの罪をお赦しくだされるものなら――。しかし、もしも、かないませんなら、どうか、**あなたがお書きになったあなたの書物**から、私の名を消し去ってください。」 33 すると主はモーセに仰せられた。「わたしに罪を犯した者はだれであれ、**わたしの書物**から消し去ろう。

「小羊のいのちの書」

～信者の名は天地創造の前からその書に記されています～

黙13：8「反キリストの支配」

13：8 地に住む者で、ほふられた**小羊のいのちの書**に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拜むようになる。

黙17：8「大バビロンのさばき」

17：8 あなたの見た獣は、昔いたが、今はいません。しかし、やがて底知れぬ所から上って来ます。そして彼は、ついには滅びます。地上に住む者たちで、世の初めから**いのちの書**に名を書きしるされていない者は、その獣が、昔はいたが、今はおらず、やがて現れるのを見て驚きます。

<p>数々の書 黙20:12</p>	<p>各人の行いが記録された書物。信者とは関係ない。 「いのちの書」に記載されていない罪びと(不信者)の行動が記されており彼らは、その内容に基づいて裁かれる。罪人の裁きにはそれぞれ程度がある。</p>
<p>いのちの書 詩139:16、69:28 出32:31～33 黙3:5、20:11～12</p>	<p>地上に誕生した全ての人の名がきされている書物 罪人のままで死んだ人の名は、その書から消し去られる その人は、白い御座の裁きで裁かれる 千年王国の終了時に「小羊のいのちの書」と「いのちの書」の内容が合致する</p>
<p>小羊のいのちの書 黙13:8、17:8</p>	<p>信者(新生した人)の名前が記された書物 信者の名は天地創造の前からその書に記されている</p>

序言「まえがき」(1:1～3)

あいさつ(1:4～8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9～20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1～3:22)

III. この後に起こる事(4:1～22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1～5:14)

2. 大患難時代(6:1～18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1～9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1～14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1～16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1～18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1～20:3)

縛られるサタン(20:1～3)

61

4. メシア的王国(20:4～6)

千年王国(20:4～6)

62

解き放たれるサタン(20:7～10)

63

5. その後の出来事(20:7～15)

白い御座のさばき(20:11～12)

64

★ 第二の復活と第二の死(20:13～15)

*第一の復活

65

*第二の復活

*旧約時代の死

*新約時代の死

6. 永遠の御国(21:1～22:5)

結論(22:6～21)

65) 20 : 13~15 「第二の復活と第二の死」

20:13 海はその中にいる死者を出し、死もハテスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行いに応じてさばかれた。 20:14 それから、死とハテスとは、火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。
20:15 いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

第1の復活の順番(初穂と3組目)

1 コリント 15:23 「眠った者の初穂として」

15:23 しかし、おのおのにその順番があります。
まず初穂であるキリスト、次にキリストの再臨のときキリストに属している者です。

第1の復活の順番(2組目)

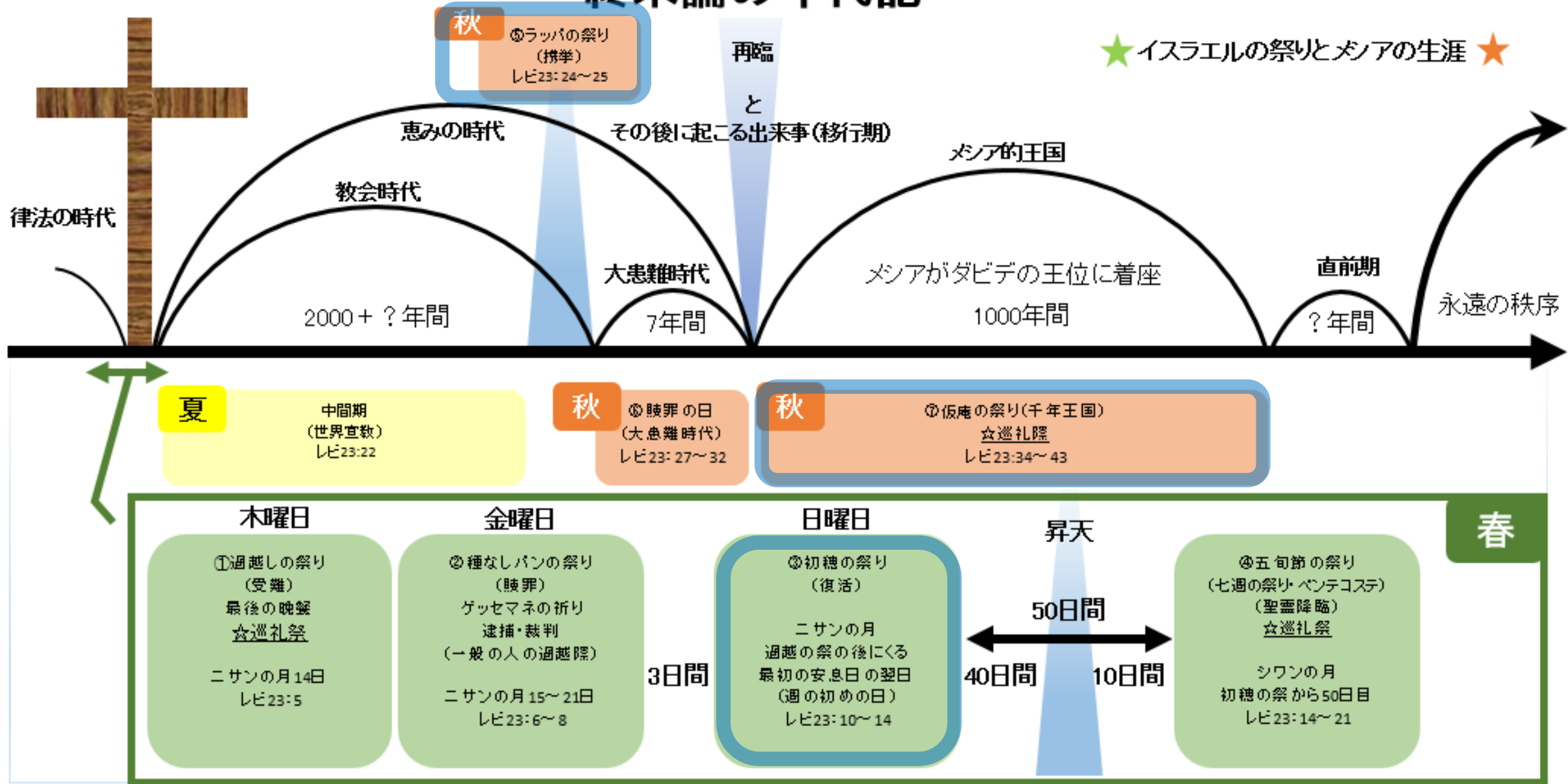
～携挙の7つのステップについて～

1 テサ4:16～18 「すでに死んだ信者たち」

*ヨハネ14:1～3の成就を含む

16 ①主は、②号令と、③御使いのかしらの声と、④神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それから⑤キリストにある死者が、まず初めによみがえり、
17 ⑥次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと
いっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、⑦空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主と
ともにいることになります。 ...

終末論の年代記



反キリストは、第二の復活の初穂

～反キリストは、メシアに殺されて後に、復活する～

60) 19:17～21 「ハルマゲドンの戦い」

*ハルマゲドンの戦いの結果（20～21節）

… 19:20 すると、獣は捕らえられた。また、獣の前でしるしを行い、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕らえられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きたまま投げ込まれた。 19:21 残りの者たちも、馬に乗った方の口から出る剣によって殺され、すべての鳥が、彼らの肉を飽きるほどに食べた。

反キリストは殺される

～反キリストの2度目の死～

IIテサ2：8「反キリストの出現」

8 その時になると、不法の人が現れますが、主は御口の息を持って彼を殺し、来臨の輝きを持って滅ぼしてしまわれる。

反キリストの魂がどうなるか

イザ14：9～11「ヤコブに下る神のあわれみ」

*契約を守る神 *イスラエルの敵のさばき

反キリストの肉体がどうなるか

イザ14：16～20「明けの明星の滅亡」

*サタンの野望 *サタンの敗北

反キリストの1度目の死と復活

～患難期中間で1度死ぬが、サタンのかによって復活～

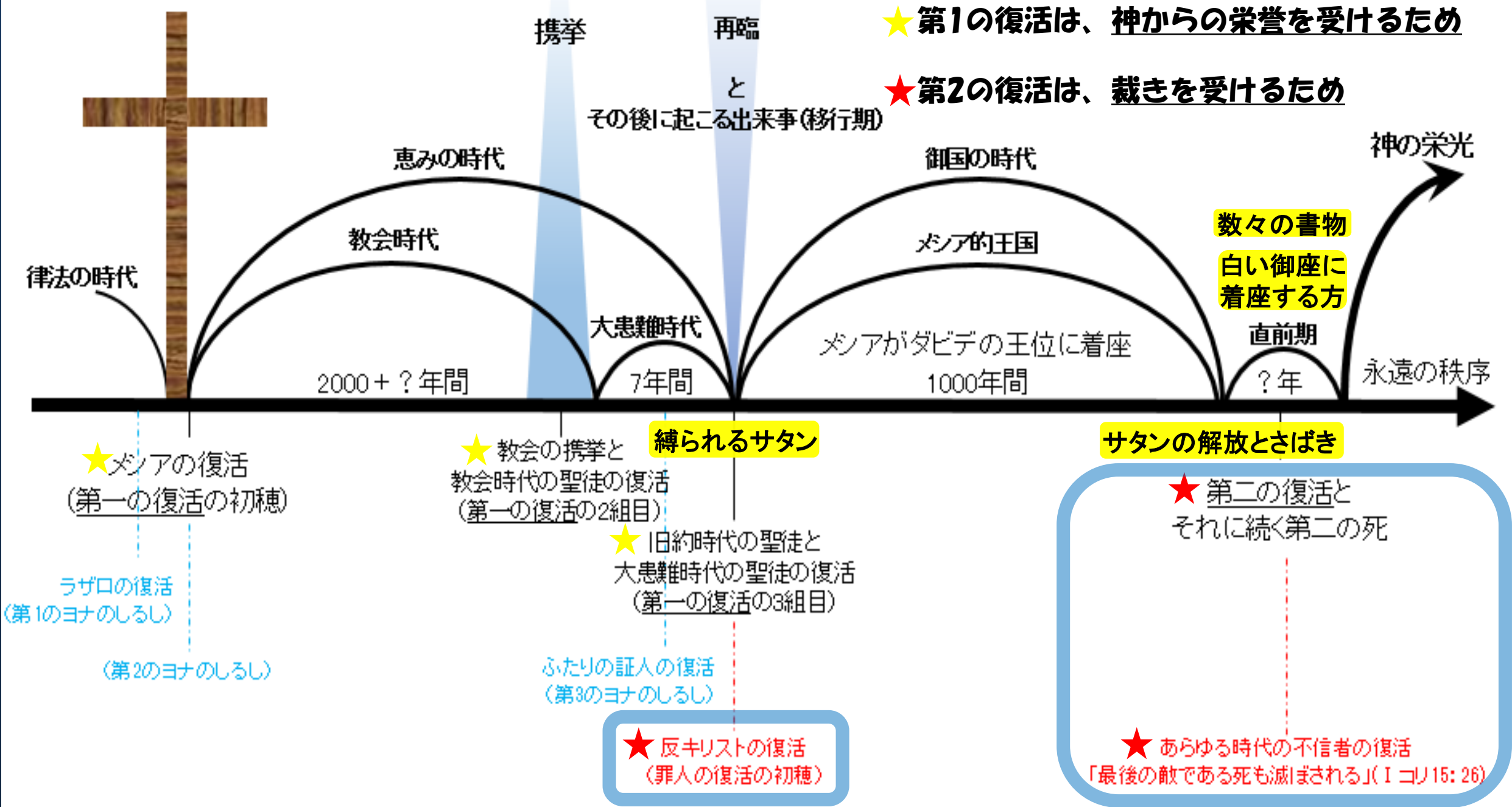
39) 13:3 「反キリストの支配」

*反キリストの復活(3節)

13:3 その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、

大患難時代の間で10人の王たちと戦い死ぬ

*ダニ11:40～45



★ **第1の復活は、神からの栄誉を受けるため**

★ **第2の復活は、裁きを受けるため**

携挙
と
再臨
その後起こる出来事(移行期)

律法の時代

恵みの時代

教会時代

2000 + ? 年間

大患難時代

7年間

御国の時代

メシア的王国

メシアがダビデの王位に着座

1000年間

直前期

?年

神の栄光

永遠の秩序

数々の書物

白い御座に着座する方

★ **メシアの復活**
(第一の復活の初穂)

ラザロの復活
(第1のヨナのしるし)

(第2のヨナのしるし)

★ **教会の携挙と**
教会時代の聖徒の復活
(第一の復活の2組目)

縛られるサタン

★ **旧約時代の聖徒と**
大患難時代の聖徒の復活
(第一の復活の3組目)

ふたりの証人の復活
(第3のヨナのしるし)

★ **反キリストの復活**
(罪人の復活の初穂)

サタンの解放とさばき

★ **第二の復活と**
それに続く第二の死

★ **あらゆる時代の不信者の復活**
「最後の敵である死も滅ぼされる」(I コリ 15: 26)

旧約時代の死

～「アブラハムのふところ」「大きな淵」～

ルカ16：19～31「金持ちとラザロ」

… 22 さて、この貧しい人は死んで、御使いたちによって**アブラハムのふところ**に連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。

23 その金持ちは、ハテスで苦しみながら目を上げると、**アブラハム**が、はるかかかなたに見えた。しかも、その**ふところ**にラザロが見えた。

… 26 そればかりでなく、私たちとおまえたちの間には、**大きな淵**があります。ここからそちらへ渡ろうとしても、渡れないし、そこからこちらへ越えて来ることもしかないのです。』

旧約時代の死

～パラダイス～

ルカ23：43 「三本の十字架」

43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともに**パラダイス**にいます。」

義人のたましい

～ただちに天に上げられる～

IIコリ5：8 「死の彼方にある希望」

8 私たちはいつも心強いのです。そして、むしろ肉体を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っています。

ピリ1：23 「パウロの死生観」

23 私は、その二つのものの間に板ばさみと なっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています。

「パラダイス」の全てのたましい

～キリストが天に引き連れて行かれた～

エペ4：8～10 「教会の多様性」

8 そこで、こう言われています。「高い所に上られたとき、彼は多くの捕虜を引き連れ、人々に賜物を分け与えられた。」 9 ——この「上られた」ということばは、彼がまず地の低い所に下られた、ということではなくて何でしょう。 10 この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方なのです

——

	現在・大患難時代前半	大患難時代中間	大患難時代後半	千年王国	永遠の裁き
サタン	第1の天	地上に落とされる	地上でイスラエルを 抹殺しようと攻撃する 人類を苦しめる	アビス(底知れぬ穴・所) (ルカ8:31) ※一般の天使によって得られ幽閉	ゲヘナ (火の池)
悪霊				エドム or バビロン	
悪霊	アビス (底知れぬ穴・所) (ルカ8:31)	地上に解き放たれる (墮天使が開く)			
悪霊 (創6章の墮天使)			タータラス(暗闇の穴)		
獣(反キリスト)	患難期に頭角を現す	死んで復活し 世界を支配	政治・宗教を支配	獣はキリストに殺され(Ⅱテサ2:8) 復活(第2の復活)させられ(イザ14:9-11) ゲヘナ(黙19:20)へ	
偽預言者	-		反キリスト礼拝の 強要・迫害・666の刻印	偽預言者はゲヘナ(火の池)へ	

結論

IV. 結論：神が望んでおられること

(1) 何に従い、何にエネルギーを費やすべきか？

① キリストにしたがうべき

② 「すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、賞賛に値することがあるならば、そのようなこと」にエネルギーを費やすべき

③ サタン自身が、千年間幽閉され、罪びとの運命の先駆けとなる

サタンに従うと、罪の刈り取りをするような人生を歩む
反キリストや最後の日々に伴う様々な悪について
考えるのは無駄な時間

(2) 何に希望を持って地上生涯を送るべきか

① 千年王国と永遠の御国の祝福。

この希望をもって地上生涯を送る人は幸い

② からだの贖い(聖化の完成)を日々待ち望みつつ
キリストと歩む者は幸い

(3) キリストのさばきの座で報奨される建築家とは

① キリストという土台の上に建てる

② 良い建築材料「**金、銀、宝石**」を使って建てる

それは**正しい教え「教理」**がなされ

それが**実践「愛」**されている状態

③ 普遍的教会「**メシアのみからだ**」を建て上げるとは、

信者たちがみことばを学び異なった教えに

惑わされなくなること。

(4) 厳粛な神のさばきの事実を真剣に受け止めるならば

① 伝道せざるを得なくなる。

**② 一人でも多くの人々が悔い改めに至るよう
涙して祈ろうではありませんか**

すべてにおいてすべてであるお方に
賛美と栄光と力が永遠にあるように。

黙示録を学ばれる兄弟姉妹に
主の特別な祝福がありますように！

アーメン



第10回講解 おわり

次回の予定

2016/11/26 (土) in元町

序言「まえがき」(1:1~3)

あいさつ(1:4~8)

I. ヨハネが見た事: 栄光に輝く人の子(1:9~20)

II. 今ある事: 教会時代(2:1~3:22)

III. この後に起こる事(4:1~22:5)

1. 大患難時代の前に起こる出来事(4:1~5:14)

2. 大患難時代(6:1~18:24)

(1)大患難時代の前半に起こる出来事(6:1~9:21)

(2)大患難時代の中間に起こる出来事(10:1~14:20)

(3)大患難時代の後半に起こる出来事(15:1~16:21)

(4)反復:2つの大バビロン(17:1~18:24)

3. 再臨とその後に起こる出来事(19:1~20:3)

4. メシア的王国(20:4~6)

5. その後の出来事(20:7~15)

6. 永遠の御国(21:1~22:5)

新しい天と新しい地(21:1~2)

66

第1の宣言(21:3~4)

67

第2の宣言(21:5~8)

68

聖なる都エルサレム(21:9~10)

69

聖なる都の城壁(21:11~13)

70

土台石と都の広さ(21:14~17)

71

宝石でできた都(21:18~21)

72

都のあかりなる小羊(21:22~27)

73

いのちの水の川(22:1~2)

74

神の都の住民(22:3~5)

75

結論(22:6~21)

では学んだことを
分かち合いましょう！

